

令和4年度弘前商工会議所経営発達支援計画事業評価委員会
議事録

日 時 令和5年2月27日(月) 午前10時から午前11時20分まで

場 所 弘前商工会議所会館6階特別会議室

出席者 【委員】

土岐 俊二	弘前商工会議所 専務理事
富士 智広	弘前市商工部商工労政課 課長
太田 尚亨	弘前市商工部産業育成課 課長
岩見 茂政	日本政策金融公庫弘前支店 支店長
黒沢 景俊	青森県信用保証協会弘前支所 支所長
古川 博志	青森県中小企業団体中央会弘前支所 所長
栗村 圭一	K-Oneコンサルティング 代表
山田 貴弘	山田貴弘中小企業診断士事務所 代表

【事務局】

木下 克也	弘前商工会議所中小企業相談所 所長
齊藤 耕成	〃 〃 経営二課 課長
三上 浩平	〃 〃 経営二課 課長補佐
中田 優大	〃 〃 地域・産業振興課 主事

内 容

午前10時定刻開会。

① 令和4年度事業報告について

事務局より資料に基づき令和4年度の実施事業について説明。日々の支援業務、展示会出展事業の成果について報告。当初の計画どおり進まなかった部分もあったことから、来年度への助言を中心に意見をもらった。

各委員の主な意見や助言は下記のとおり。

【富士委員（弘前市商工労政課）】

行政は、個社支援は難しいスタンスであったが、現在は個社支援の先に業界の底上げとなれば問題ない状況に変わってきている。今後も業界を引っ張りあげるような個社支援を目指して欲しい。

【太田委員（弘前市産業育成課）】

市長が健康医療産業の推進を目指しているためそちらの推進も連携していければと考えている。

【岩見委員（日本政策金融公庫）】

ひろさきフェアの様なイベントは事業者にとっては重要であるため引き続き実施してほしい。

事業承継関係が現在の金融公庫としての力を入れている業務である。すし桜さんの伴走支援のように首都圏からの UIJ ターン者の支援も連携して実施していきたい。

【黒沢委員（青森県信用保証協会）】

地域を活かした産業の伴走支援は、保証協会として力を入れているところなので商工会議所と連携しながらの支援をしていければと思う。

【古川委員（団体中央会）】

商工会議所だけではなく、金融機関や中央会や保証協会なども伴走支援が必須となっている。山形銀行は伴走支援に関して昔から力を入れており、補助金申請といったコンサル能力は重要であると捉え、コンサル能力がある人材を大切にしている。今後も伴走型の支援体制を維持しながら継続して支援をしてほしい。

また、各団体で事業承継に力を入れていると思うが当団体でも事業承継の相談が来る場合もある。情報共有しながら各団体と協力していきたい。

【栗村委員（中小企業診断士）】

事業者にとって世田谷代田の弘前フェアのような実際に売上げをあげ、商品のブラッシュアップが出来る出展イベントは非常に重要である。今後も、出展後の効果の検証をしつつ伴走支援を続けて欲しい。

【山田委員（中小企業診断士）】

補助金の申請に関しても今後はコロナ禍の中でどうやって耐え抜くかという計画が主だったが、今後は攻めの計画が重要となってくる。攻めの計画であれば出展会は非常に有効な出口であるため引き続き実施をしていって欲しい。

② その他について

当所の経営発達支援計画が令和 6 年 3 月 31 日で計画満了となるため、令和 5 年度中に新たな計画の策定の必要がある旨を報告。

現在の計画とは異なり市と共同での計画作成が必須のため、当所で出来る事や市で出来る事をすり合わせし、連携をとりながら計画していく事となった。

以上